



「命」と「心」を守る

昨年9月18日、中国の日本人学校のスクールバスが刃物を持った男に襲われ尊い命が失われるという痛ましい事件が発生しました。あれからもうすぐ1年となりますが、中国映画「南京照相館」の世界公開に関連して在外教育施設における注意喚起の情報が各所から寄せられています。この映画は南京大虐殺の証拠を残すために行動した庶民を描いているもので反日感情を煽る内容となっておりクライストチャーチにおいても昨日より公開されています。(レーティングはR16なので小中学生は鑑賞不可)子供たちには全く責任のない事案で、多様性を基盤とした学びとグローバル人材の育成を目指す本校において過剰な対応は控えたいところですが、この映画、そして9.18に向けてさらにもう1本類似の映画が公開される予定ということから、それらに触発されたことによる事案発生への不安があります。本校といたしましては、いたずらに子供たちを不安にさせるのではなく、安全に対する意識向上の視点で、特に児童生徒の登下校前後および授業中の安全確保のレベルを上げたいと思いますので、以下についてご理解ご協力をお願いします。

登下校時・授業中の警備強化

警備員のパトロールを強化します。また学校使用時の警備員による指導を強化し、不審者の校地内への侵入を防ぎます。

※登校後、授業中に小さいお子さんに校地内遊具や運動場を使用させることは控えてください。警備会社から外部の侵入者と関係者の見分けがつかないという指摘があります。また授業で遊具や運動場を使うことがありますのでその妨げにならないようお願いします。

発達段階に応じた児童生徒への安全指導、様子の観察とケア

補習校での学習時間以外でも、現地校や生活の中で言い掛かりや嫌がらせ等の事案が発生しないことを心より祈っていますが、子供たちの様子を目を配り、状況に応じた支援やケアに努めます。

校地内の交通安全

上記とは別の内容ですが、ilam スクールの校舎工事が土曜日にも行われるようになった関係で校舎裏(事務所側駐車場等)に工事車両が出入りすることがあります。通行禁止エリアを通らず、登下校時は正門・裏門から校地内に出入りするようお願いします。